

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年7月26日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4691500153 |
| 法人名 | 株式会社 幸楽 |
| 事業所名 | グループホーム こうらく園 |
| 所在地 | 鹿児島県薩摩川内市下甕町手打544番地 (電話) 09969-7-0900 |
| 自己評価作成日 | 令和5年4月25日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 令和5年7月19日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

手打海岸近くに立地し、潮風の音、においを感じながら、ゆっくりとお過ごしいただけます。
また、利用者様のその日の気持ちに寄り添いながらになります。地域行事にも参加し、地域の中の施設を意識して運営しています。
施設は台所を中心とした配置で、共用部分の天井が高く、十分な広さがあり、ゆったりとした生活スペースを提供しています。
認知症の症状進行の緩和を目的に、利用者が我が家にいるように安心して過ごせるスペース、環境づくりに努め、楽しいレクリエーション(畑など)、食事等を企画し、実行します。食事もたまには外食をするなど気分転換できる時間を取り入れたりしています。
居宅生活への復帰を目指し、個性に合わせた、自立生活の援助を行います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は1ユニットで、利用者は広い敷地内にゆったりと過ごしている。近くに運営母体の会社があり災害時や避難時には社員の協力体制ができています。
- ・自治会に加入し地域活動会議にも参加している。日常的に散歩時の挨拶や野菜等の近隣からの差し入れ等もある。ボランティアや職場体験学習の受け入れ等も行っている。
- ・運営推進会議には地域コミュニティ会長や町担当者、地域包括支援センターの職員も参加して、出された意見や相談にも協力し取り組んでいる。
- ・管理者・職員は利用者の要望や希望に耳を傾け実現に向けての話し合いを行い、利用者に寄り添いながら日々のケアに取り組んでいる。
- ・契約時に重度化・終末期の説明を行っている。利用者の状態に合わせて主治医と話をし家族への説明をしながら看取りにも取り組んでいる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 運営理念の周知教育を行うことはもちろん、職員との介護に対する価値観や考え方に相違がないか日ごろから話し合い確かめ理念に基づくサービスの実行ができています。 | 玄関とホールに理念を掲示し重要事項説明書にも記載している。毎月の職員会議でも話し合いをしている。全職員が理念を共有しながら日々のケアに取り組んでいる。新人職員の入職時にも研修を行っている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ボランティアや慰問の受け入れを行っている。各地域活動会議に参加し、多角的な地域活動への参加を模索している。(職場体験学習受け入れ) | 自治会に加入しており地域活動会議にも参加している。尺八や三味線のボランティア・中学生体験学習の受け入れも行っている。最近では利用者がファッションショーに参加した。日常的にも散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等の交流を行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 運営推進会議で認知症への理解を進めている。ご家族への説明も詳しく行っている。また、認知症への理解が深まっていくように家族や地域の方々へ職場体験などを実施している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域行事や独居高齢者などの情報収集及び意見を収集しサービスに反映させている。また、運営方針について相談し、地域のニーズの掘り起こしを行っている。 | 運営推進会議では地域行事・地域の実情・事業所の状況について話し合っている。畑を借りて利用者と共に野菜を育て楽しんでいる。事業所の意見や地域の相談等を聞きながらサービス向上に活かしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 各種会議に参加し、運営上の問題を伝えながら、地域の問題についても施設から解決できるよう取り組んでいる。まだ具体化できていないことはあるが努力している。 | 行政担当者とは連携を密に取っており運営推進会議にも参加してもらっている。研修会の案内もある。情報を得ながら相談したりして協力関係ができています。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 施設における身体拘束の定義を理解し、実践している。防止委員会の設置。 | 身体拘束防止委員会を設置し拘束・虐待防止・言葉遣い等についても、毎月の職員会議の中で話し合いをしている。玄関は日中は施錠せず夜間のみしている。一人で散歩に出かける利用者には見守りをしながら職員が後からついて散歩をして帰宅している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 施設における、虐待の定義を正しく理解し、実践している。防止委員会の設置 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 利用者の置かれている状況を通して、後見人制度について学ぶ機会を、職員会議で作っている。実際に利用されたことはないが、選択肢の一つとして、提示できるようにしている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>本人とご家族（身元引受人）の来園、見学を入所条件にしている。説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>ケアプランに家族の意向を必ず記入してもらう。また、電話・FAXに限らずライン（SNS）を活用している。</p> | <p>利用者・家族の意見や要望についても面会時や電話等で聞いている。食べ物や薬に関する要望、畑仕事がしたい等、できることは職員で話し合いをしながら取り組んでいる。ホーム便りを毎月発行し家族に届けている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員会議を開催し、反映している。また、施設長が申し送り等に出席し、状態を把握するよう注意している。日ごろから普段の何気ない会話の中でも意見がいえる環境にしている。</p> | <p>職員会議の折に話を聞いたり申し送り時に施設長が参加して要望や希望を聞いている。勤務体制については出来るだけ希望通りに調整している。職員から利用者・家族・職員の親睦を深めるパーティをしてはどうかとの提案があり検討中である。意見を運営に活かすように取り組んでいる。</p> | |
| 12 | 8 | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>個人面談の実施などにより、環境整備に努めている。やりがいを感じてもらえるように職員1人1人にあった働き方をするように提案し、実現してきている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | 9 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員会議で問題点の指摘・改善の指導を行う。内部研修の実施。管理者から職員の情報を聞き取り、問題点などの解決策を話し合っている。</p> | | |
| 14 | 10 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>他事業所の事例などを職員会議にて展開。また、各種会議を通じて相互に提供できるサービスを検討中。同業者とのコミュニケーションの場やコミュニケーションツールを試案中。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 会話の中から本人の意思。意向を聞きだし、ケアプランに反映するよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。また、電話対応は24時間受け付けている。また、SNSを通じたほぼリアルタイムでの状況伝達。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ケアプラン作成に反映させ、変更が生じた場合、家族の同意の上随時変更している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 良好な関係を築いている。いつもは、敬語や丁寧語で会話をするものの、たまに島の言葉を使い安心してもらえるようにしながら本音が話せるような雰囲気を作っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | <p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>入居者と入居者家族がつながるよう、連絡体制をとっている。電話やビデオ通話、SNSを通じた連絡体制。コロナの緩和に伴い直接面会を行っている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>訪問者は常時受け付け、面会していただいている。可能な限り本人の望む場所へ一緒に行くこともある。買い物・美容室・外食など。</p> | <p>家族をはじめ、友人・知人・親戚等の面会を推進している。自宅訪問や買い物・外食等に連れ添っている。カットは訪問美容を利用している。馴染みの関係が途切れないように支援を行っている。</p> | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>入居者がお互いの部屋を訪室することを特に妨げていない。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>契約終了後も、相談・連絡体制をとっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の意思と、健康管理と心身のバランスを保って接している。外出拒否・入浴拒否に対して、根気強く説得している。 | 昼ごはんの後や洗濯物をたたみながら好きなものや希望をいろいろ話をされることが多い。困難な場合は家族の意見や職員間で話し合い利用者中心の支援を行っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 他サービスの利用記録または診療記録を入手し、ケアプランに反映している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日常の行動を記録している。観察をし、本人の特徴を理解することに努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日常記録を参考にケアプランを作成している。 | 本人・家族・主治医等からの意見を聞きながら現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは毎月行っている。介護計画の見直しは6ヶ月で入院や状況の変化に応じて介護計画の見直しは随時行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 入居者の情報は、職員間で共有できている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族の状況等把握し、利用者に合ったサービスを柔軟に行うようにしている。その都度新しいサービスの多機能化に取り組むよう努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | できる限り、なじみの人との付き合いについて、継続していただき、必要な助言等による、利用者本人の、人の役に立つ実感を失わないよう支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけの医師の診察を受けている。 | かかりつけ医は希望を聞き支援を行っている。職員が連れ添って受診している。歯科医は必要時往診してもらっている。連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>パートタイマーで看護師を雇用し、知識を生かしている。協力医療機関との連携をとっている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>情報交換を行っている。利用者が安心できるように本人の意思を尊重しながら治療するよう医師や看護師が努めてくれている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>家族との話し合い、医療との連携を図っている。また、加算にはならないものの家族の希望により、看取り介護をしている。</p> | <p>重度化や終末期・看取りについて契約時に説明を行っている。利用者の状態変化に応じて家族への説明等も含め主治医と連携を取りながら終末期・看取りを行っている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>利用者の急変時や事故発生時の対応、連絡体制および避難経路、場所を決定している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---------------------|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>協力体制を確保している。</p> | <p>年2回消防署の協力をもらいながら夜間体制での訓練を行っている。協力体制を確保している。職員に消防団のメンバーがいるので安心である。備蓄は、水・レトルト食品・缶詰・パン等の準備がある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>職員会議での職員への周知、家族様、来客様まで注意を周知している。</p> | <p>一人ひとりの人格やプライバシー確保について職員会議で学習している。入室時のノック、入浴時の着替え、トイレ誘導等の対応や言葉かけに配慮している。来客の人にも玄関に張り紙をして人格やプライバシー配慮について周知している。</p> | |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>可能な限り本人の意思を尊重している。自由選択が困難な利用者に対しては、選択肢を提示することによる意思決定の尊重。ご家族への相談など。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>ある程度のタイムスケジュールを管理しているが、入居者が優先であり、意向に沿う形で支援している。職員への教育は徹底している。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>朝や入浴後の整容、衣類の選択はもちろん。ご本人が希望すれば化粧等の支援を行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 現利用者には共同作業ができる方がいるのでお願いして食事や片付けと一緒に楽しみながら自発的になっていくように努めている。できない方には食事を楽しんでいただけるように努めている。 | 献立は職員が作成し、食事形態は個々に応じて刻みやミキサー食にも対応している。茶碗洗いや配膳・下膳・台拭き等を職員と一緒にできる利用者は行っている。行事食や誕生日にはケーキを提供し、食事を楽しむことができるように支援を行っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 日常記録から個人の状況を把握し、支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | うがい、ブラッシング等のケアを介助して行っている。毎回ご本人の心身のバランス状態をみながら行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 個々の体調に応じた支援を行っている。 | 日常生活記録を使って排泄パターンを把握しトイレへ誘導している。自力でトイレに行く利用者もいる。一人ひとりの排泄のパターンを把握して、排泄の自立に向けた支援を行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 適度な運動と食事の中では果物、ヨーグルト、牛乳等を個人の口に合うようにして提供している。排便の記録。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 個人の意向に沿っている。心身のバランスとご本人の気分によって異なるが、まずは清潔保持と癒しや楽しみなどであることを理解してもらえそうな支援をしている。 | 利用者が週2・3回は入浴できるように個々の意向に添って声掛けや体調を見ながら入浴支援を行っている。嫌がる利用者には時間を変えたり職員が交代で声掛けしたり、工夫しながら入浴を楽しんでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 昼寝をする方、ベッドではなく布団がよい方、畳がよいかたなど個人の意向を反映している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 入居者が服用する薬については、全職員が理解している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>個人の趣味・特技を日々の生活で取り入れられるよう支援している。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>体調に応じて、家族・友人との外出を許可し、職員が付き添い外出することもある。</p> | <p>利用者の体調を見ながら外出支援を行っている。日常的に買い物や散歩等にも出かけている。花見にいたり、バーベキューをしたりドライブや外食等、家族や友人と出かけることもあり、外出を楽しんでいる。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>認知症の症状を見究め、所持させている人もいる。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>電話、手紙の支援を行っている。時間を限らず、電話を取り次ぐ。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 常時、清潔にしている。 | 明るくて広いホールには大きな窓があり採光にも配慮している。換気や空調・温度・湿度の管理を行っている。対面式のキッチンからは利用者の様子を見守りながら食事の準備ができる。テレビがありソファにゆったりくつろいでいる利用者もいて、居心地よく過ごせる工夫をしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご本人様が希望されればテレビや壁掛け時計、写真盾、仏壇などご自分の家と変わらないような空間作りインテリアを工夫している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 施設から準備するものは最低限にしているのので、使い慣れたものを入れられるよう、空間を確保している。 | 各居室にはトイレや洗面台があり、ベッド・箆笥・エアコンは事業所が準備している。部屋には、仏壇や位牌・テレビ・箆笥・家族の写真等を置き、利用者が安心して居心地よく過ごせる工夫を行っている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手摺を全周配置し、居室入り口に名札を取り付け、一人で移動できるようにしている。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |